

指定管理者に関する第三者評価シート

1 施設の概要

(評価実施年度： 令和 3 年度)

施設の名称	旧河澄家	指定期間	2	年度～	6	年度
		選定方法	公募			
		指定管理者名	株式会社アスウェル			
所管部課名	人権文化部文化室文化財課	評価機関名	株式会社ブレインファーム			
施設の設置目的	郷土の文化財を広く市民の利用に供し、市民の郷土理解と文化的向上に貢献するため、旧河澄家を設置するもの。	主な事業	施設の維持管理業務 旧河澄家の民族文化財に関する資料の保存及び公開に関すること 生駒山麓歴史探訪の道の案内及び休憩の場の提供に関すること 体験学習等を実施すること			
設置時期	平成 23 年度					
主な料金体系 (有料・無料等)	入館無料。施設使用有料。					

2 管理運営状況等

年度	実績						今年度(予算)		次年度(見込)	
	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 4 年度			
供用(開館)日数	303	281	259	250	297					
収支状況 (千円)	収入総額	16,718	17,207	19,803	19,199	20,006				
	指定管理者委託料	16,718	17,207	19,803	19,199	20,006				
	利用料金収入	0	0	0	0	0				
	自主事業収入	0	0	0	0	0				
	その他収入	0	0	0	0	0				
	支出総額	17,163	17,525	17,016	19,199	20,006				
	人件費	12,317	12,060	12,063	15,160	15,601				
	施設維持管理費	1,596	1,695	1,477	1,789	1,816				
	事業費	949	1,763	1,292	1,218	1,513				
	その他支出	2,301	2,007	2,184	1,032	1,076				
収支差額	△ 445	△ 318	2,787	0	0					

3 第三者評価の総括

仕様書等の基準を超えて優良な場合は「S」
 仕様書等の基準通り実施された場合は「A」
 仕様書等の基準を下回り、一部に不備が見られる場合は「B」
 管理運営上不適切な部分があり、改善が必要な場合は「C」

評価の観点	第三者評価(評価できる点や要改善事項)		
	個別評価 S A B C	指定管理者に対する 主な意見	施設担当課に対する 主な意見
有効性 施設の設置目的が十分に達成出来たか？	A	仕様書の基準以上の指定事業が実施されている。施設の設置目的にも合致した運営が行われている。また誘客を図る工夫・取組みも行われており、高く評価できる。 新型コロナウイルス感染症拡大の状況下、市からの入館者数制限等の指導もあり、令和2年度の入館者数は、目標に対し6割程度であった。新型コロナウイルス感染症の収束状況をみながら、今後の挽回に期待する。	事業者と新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとりながら、積極的なイベント展開ができる支援をしていただきたい。
効率性 経費の低減等の効果があったか？	A	令和2年度の施設維持管理費は減少しており、人件費も予算以下で運営していることは評価できる。 経費の節減効果分を活用し、立地特性を活かした多様なイベントの実施などによる利用者増加策を検討していただきたい。 コロナウイルス感染症拡大の状況に注視する必要はあるが、入館者数の増加により、さらに効率的な運営を期待する。	経費節減の状況を見届け、今後の誘客を図るための効果的な予算配分について、事業者と一緒に検討していただきたい。
適正性 公の施設に相応しい適正な管理運営が行われたか？	B	事業計画書に沿って取り組みを実施している。 しかしながら、備品管理の方法に不備があるため改善していただきたい。 また、イベント予約表や貸室利用者台帳の管理方法、インターネットやSNSのID、パスワードの管理方法に不備があるため改善していただきたい。	備品管理方法の改善と個人情報やID・パスワードの管理方法の改善を見届けていただきたい。
財務状況 財務健全性が確保され、適正な会計処理が実施されているか？	A	法人の財務状況は健全である。 事業の支出項目によっては、予算と実績に比較的大きな乖離が発生しているため、乖離要因を市に報告していただきたい。	指定管理事業者の提出する事業の予算と実績の比較を行い、要因を把握していただきたい。
継続性 労務管理状況 職員の労働環境整備に向けた適切な取組みが実施されているか？	B	適切な水準で労務管理が実施されているが、一部の職員の雇用契約書が適正に管理されていなかったため改善していただきたい。 年次有給休暇の取得率が低いので、改善をしていただきたい。 次回定例研修に接遇マナー向上をテーマに加えていただきたい。	雇用契約書の管理方法の改善と有給休暇の取得推進、そして接遇マナー研修の実施に向けて、指導していただきたい。
今後期待される点や その他特記事項	最終評価 A	施設の保全やイベントの企画運営、広報においては事業者独自のノウハウが活用されたことは評価できる。職員への教育研修や施設管理面を再度見直し、事業計画の入館者目標人数に少しでも近づけることを期待している。	